

# つどい

第3号

発行日：令和3年8月

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。

今回の「つどい第3号」でお届けしますのは、概ね次のとおりです。

- 「野木ホフマン館」の近況・事業
- 野木町煉瓦窯のおはなし その③
- 自然豊かな渡良瀬遊水地 その②

## 【野木ホフマン館の近況と事業】

野木町のキャッチフレーズ「花とレンガのまち」の象徴、野木ホフマン館の風景です。4月に煉瓦のオブジェができ、周りにはバラを中心に多くの種類の花が5月中旬から咲き誇っています。6月になると紫陽花が追いかけて咲き続け、「野木町煉瓦窯」を盛り上げています。煉瓦のオブジェを見に来ませんか。



煉瓦窯と色彩豊かな花



煉瓦のオブジェとバラ

- ◆渡良瀬遊水地植物観察会を4月・5月に行い、共に定員に達し参加者の熱心な観察がうかがわれました。ありがとうございました。次回は9月の予定です。
- ◆令和3年度「陶芸教室」生徒募集したところ、定員に達しました。ありがとうございました。文化振興指導員のもと世界で一つの芸術品ができるかな？

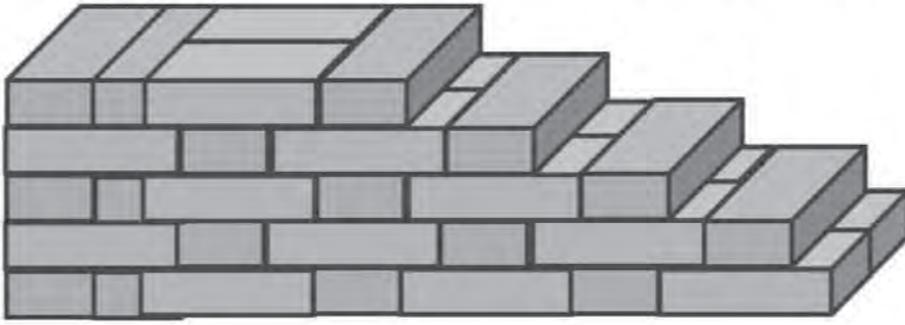


植物観察会の様子



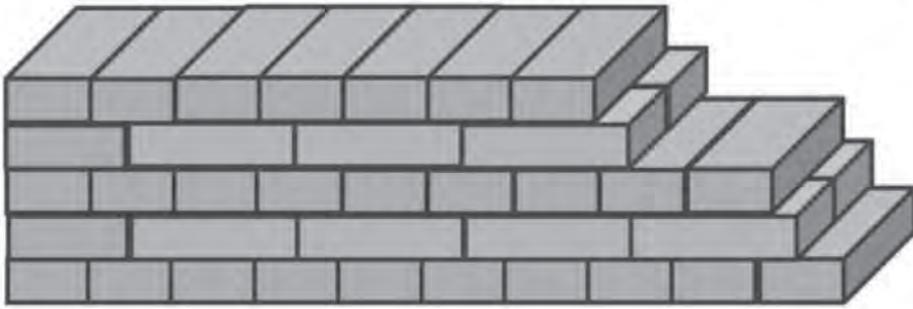
芸術品作成中

## 煉瓦の積み方の例



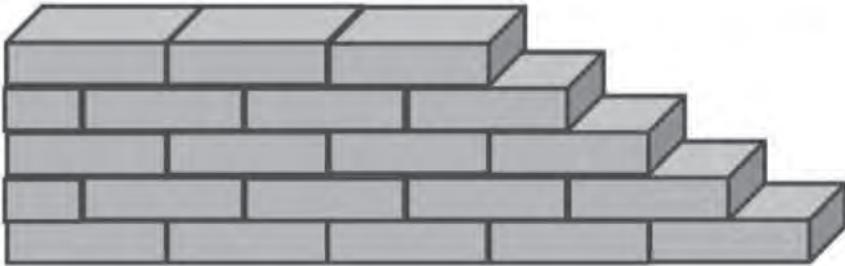
### フランス積み

同じ段で小口と長手を交互に見せながら積んでいきます。日本では、明治時代初期に使われていた積みかたです。



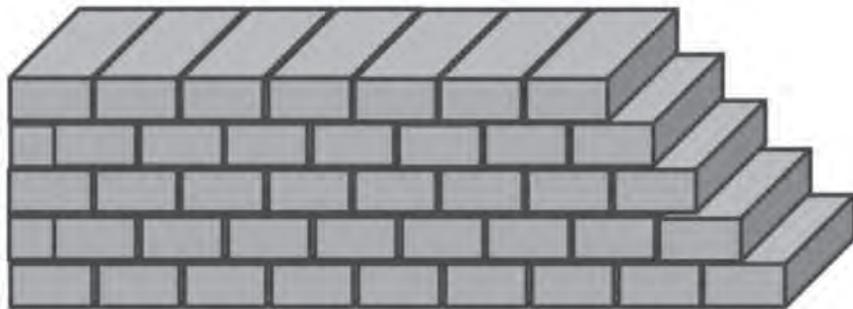
### イギリス積み

小口の段と長手の段を交互に重ねていく積みかたです。日本では、徐々にこの積みかたが主流になっていきました。



### 長手積み

長手の面のみを見せて積みます。壁の厚さはほかの積み方より薄くなります。



### 小口積み(ドイツ積み)

小口のみを見せながら積みます。

### イギリス積み



### フランス積み



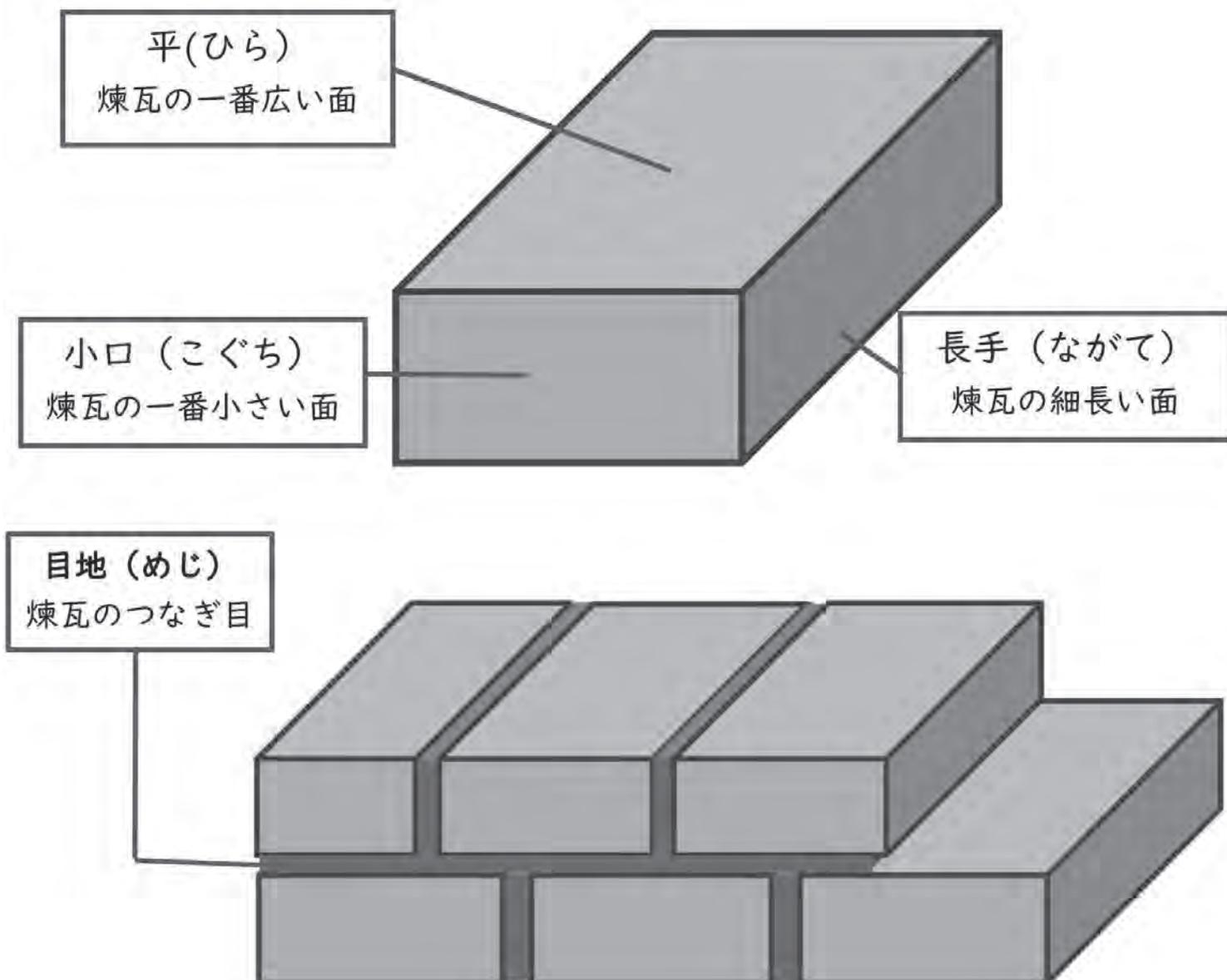
野木町煉瓦窯の  
東側階段下

# 野木町煉瓦窯のおはなし その③

野木町煉瓦窯は煉瓦を積み上げて建てられています。煉瓦にはいろいろな積みかたがあります。煉瓦には3種類の面があり、同じ大きさで形の煉瓦を使っても、積みかたによって表側に見える面が異なります。

どの積みかたでも、接着剤である「目地（めじ）」の部分を縦方向にまっすぐつなげずジグザグになるよう積むのが基本です。上段に積まれた煉瓦の重さを分散させ、目地の部分で煉瓦がはがれていかないようにするためです。

野木町煉瓦窯では、主に「フランス積み」と「イギリス積み」が使われています。（つづく）



# 自然豊かな渡良瀬遊水地 その②

現在の渡良瀬遊水地は、谷中村廃村や周辺地域の人々の大きな犠牲のもとにあることを銘記しなければなりません。渡良瀬貯水池（谷中湖）が供用開始されて今年31年目を迎えます。渡良瀬遊水地の生い立ちは概ね次のとおりです。

## 【谷中村と渡良瀬遊水地】

江戸時代	谷中8カ村	下宮村、高砂村、西高砂村、篠山村 鎌立村、赤渋村、恵下野村、横堤村
明治7年	谷中3カ村	下宮村、恵下野村、内野村（高砂村、西高砂村、 篠山村、横堤村、鎌立村、赤渋村の合併）
明治22年	谷中村成立	市制町村制の施行
明治23年頃～		足尾銅山からの鉱滓被害（大きな社会問題となる。）
明治29年	洪水氾濫	渡良瀬川、利根川の各所で堤防破壊
明治35年8月、9月		渡良瀬川氾濫 谷中村堤防決壊
明治35年11月		治水のための遊水池設置計画の具体化
明治37年		谷中村買収（移住移転）
明治39年		谷中村廃村→藤岡町に合併
明治42年		国は渡良瀬川改修工事を直轄で行う方針を決定
昭和51年		貯水池（谷中湖）事業着手

今回は、遊水地化事業の概要をお届けいたします。



参考文献

（渡良瀬遊水地～生い立ちから現状）より

## 渡良瀬遊水地の近況

今年の遊水地の景色は例年と大きく異なっています。ヨシ焼ができなかったために植物の顔ぶれや成長も異なっています。ですが、暑くなるにつれてヨシ・オギが大きく成長し、見た目には例年通りの景色になっていきます。来年はヨシ焼が実施できればいいですね。

## 野木町交流センター

（野木ホフマン館）

開館日：火曜日～日曜日

9:00～18:00

（国民の祝日開館、翌平日閉館）

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎ 0280-33-6667